

みんなであつたか本郷 ～地域とのつながりの中で培う学び～

本郷小学校 校長 福岡 翼

地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本校の生活科や総合的な学習の時間の学習の中に「地域で学ぶ」活動があります。低学年は、地域で活躍している人たちにインタビューする取組を行いました。中学年は、地域の人たちの憩いの場であるこころーどに関わる人と出会い、地域の人に少しでも喜んでもらえるようにアイスクャンドルを制作しあたたかな灯りを点しました。高学年は、本郷

商店街の方々とのふれあいを通して、商店街の魅力を調べて発信してきました。地域には様々な経験・技術をもった人たちがたくさんいます。そんな人たちの話を聞くこと、実際にふれあうことが子どもの考えを広くし、地域への愛着につながっていると感じています。今後も職員一同、地域の方々と「みんなであつたか本郷」ことを大切にし、子供の笑顔溢れる「あつたか本郷」になるよう取り組んでいきます。引き続きお力添えをお願いいたします。

東白石小学校の特色ある教育活動 ～さけ学習～

東白石小学校 校長 相馬 慎司



東白石小学校は今年度で開校58周年を迎えます。今から55年前の昭和53年にさけを豊平川に呼び戻そう

とする「カムバックサーモン運動」をきっかけとして、その後何十年にも渡り「さけ学習」を継続して行うようになりました。今では、本校の特色ある教育活動として位置付けられており、特に5年生が中心となり「総合的な学習の時間」で「さけ学習」に取り組んでおります。秋には、豊平川でさけの遡上観察をしたり、さけ科学館で行われる「さけ授精式」に参加したりします。そこで育てたさけの赤ちゃんを春に放流します。

4月、豊平川で「さけ放流式」が行われ、1年生から6年生までの全員が大事に育てたさけの赤ちゃんを放流します。放流式前日には、全校児童が体育館へ集まり「さけの赤ちゃん壮行会」が行

われ、さけのことをクイズにして学んだり、「さけよふるさとへ」を歌ったりします。

さけの放流後しばらくは学校にさけはおりませんが、その間、子どもたちは、さけについて調べ学習をしたり、さけ科学館の方からの出前授業を通して、さけのことをたくさん学んだりします。

12月には、さけの新しい命(卵)が学校に届きます。そこから春にかけて、卵から孵化し幼魚に成長するまでの間、子どもたちや先生方がお世話をします。半年間かけて卵から幼魚になるまで育て放流するというサイクルになります。

今年も4月25日(金)に放流式を行う予定です。毎年約2000匹を放流しています。東白石小学校で育てたさけの赤ちゃんが1匹でも多く豊平川に戻ってくることが子どもたちや教職員の願いとなっています。これからも、さけ学習を通して、命の大切さや尊さを学んでいければと考えております。



創業 昭和42年(1967年)

株式会社なかむら美巧社

〒003-0023 札幌市白石区南郷通14丁目北6番18号
TEL.011-861-1978 (代表) FAX.011-864-7714

〈業務内容〉

屋内・外看板広告／見本市・展示会設営／ディスプレイ／
イベント業務管理／店舗装飾／ポスター／POP／チラシ
DM／広告表現の企画・立案制作

ハスカップの研究と啓蒙、普及を目的にした

ハスカップ協会

＜共同開発商品＞

美人吉思汗(ビジンギスカン)
ハスカップのむヨーグルト

